

【農水省】岐阜県ローカルフードプロジェクト参画 パートナー連携で鬼皮を再利用・米粉パスタ商品化

和洋菓子を製造販売している株式会社恵那川上屋（本社/岐阜県恵那市大井町 2632-105、代表取締役/鎌田真悟）は、このたび農林水産省のローカルフードプロジェクト（通称 LFP）に岐阜県として参画し、食に関わるパートナーと連携して鬼皮を再利用した米粉パスタを開発いたしましたことをここにお知らせします。

■ 概要

ローカルフードプロジェクト（通称 LFP）とは、地域の食品産業を中心とした多様な関係者が参画し、地域の農林水産物を活用したビジネスを生み出す仕組みです。

このたび農水省の LFP に岐阜県として恵那川上屋も参画し、ママさんネットワークをもつ岐阜の NPO 法人こどもトリニティネットとともに栗の鬼皮粉を使った米粉の生パスタを開発しました。商品名「栗菓子屋さんが、米粉でパスタをつくったら」として、3/8（水）より恵那川上屋全店にて数量限定販売いたします。（税込 540 円）

子供からお年寄りまで家族みんなで食べられ、岐阜の食にも触れられるものが何か出来たら・・・というトリニティネットのみなさんの思いにより、幼児期から好きな子も多い麺に着目。グルテンフリーにすることで、食物アレルギーのある子でも安心して食べられる、もちもちで美味しい麺が完成しました。また栗菓子を作る時に出る鬼皮をパウダーにして少量加えることで環境や SDGs への配慮もおこない、当社ならではのオリジナル麺に仕上がりました

※売り場写真、商品写真、商品を手にした販売員の写真ございます。メールにて送付いたしますのでお気軽にお申し付けください。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社 恵那川上屋 Tel : 0573-25-2470
広報担当 : マーケティング本部/井戸
(E-Mail : ido@enakawakamiya.co.jp)